

高等学校 令和7年度（1、2、3学年用） 教科 機械 科目 機械実習

対象学年組： 第3 学年 M 組 単位数： 4 単位 教科担当者： 佐藤 祐次 阿部 憲一 渡邊 剛

使用教科書： 発行者 教科書記号・番号 教科書名

教科 「機械」 の目標

【知識及び技術】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 「機械実習」 の目標

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械分野の学習活動で身に付けた技術に関わる知識を実際の作業に即して総合的に関連付けて理解するとともに、実際のものづくりの現場で活用することができる技術を身に付けるようにする。	機械分野の技術に関する課題を見いだし、単に生産性や効率だけを優先するのではなく、工業製品が社会に与える影響に責任をもち、工業に携わる者として倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	機械分野に関する技術の向上を目指し、実際の作業を通して自ら学ぶ態度や、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	総合機械・NC機械・内燃機関 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる。	・指導事項 1. 総合機械① 機械分野の要素技術を総合化した内容を扱う。 2. NC機械 NC機械の分野に関連する要素的な内容を扱う。 3. 内燃機関① 四輪自動車の内燃機関分野に関連する要素的な内容を扱う。	総合機械・NC機械・内燃機関 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	55
2 学期	総合機械・入像・内燃機関 【知識及び技術】 鋳造に関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鋳造分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 鋳造分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる。	・指導事項 1. 総合機械② 機械分野の要素技術を総合化した内容を扱う。 2. 鋳造 鋳造分野の要素技術を総合化した内容を扱う。 3. 内燃機関② 二輪自動車の内燃機関分野に関連する要素的な内容を扱う。	総合機械・鋳造・内燃機関 【知識及び技術】 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	55

3 学 期	総合機械・鋳造・内燃機関 【知識及び技術】 鋳造に関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鋳造分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 鋳造分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けさせる。	・指導事項 1. 総合機械② 機械分野の要素技術を総合化した内容を扱う。 2. 鋳造 鋳造分野の要素技術を総合化した内容を扱う。 3. 内燃機関② 二輪自動車の内燃機関分野に関連する要素的な内容を扱う。	総合機械・鋳造・内燃機関 【知識及び技術】 【知識及び技術】 各ショップに関する要素的な内容について工業の各分野での学びを踏まえて理解するとともに、工業に携わる者として必要な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 各ショップの分野に関する技術に着目して、工業に関する要素的な内容に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各ショップの分野に関する要素的な内容について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる態度を身に付けている。	○	○	○	30
備 考							合計 140

高等学校 令和7年度 教科 機械 科目 機械製図

対象学年組： 第3 学年 M 組 単位数： 3 単位 教科担当者： 潮田 正彦 竹谷 尚人

使用教科書： 発行者 実教 教科書記号・番号 工業702 教科書名 機械製図

教科「機械」の目標	
【知識及び技術】	機械の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	機械に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目「機械製図」の目標

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械分野に関する製図について日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	製作図や設計図に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	機械分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	製作図 【知識及び技術】 製作図の課題を通して基礎的な知識・技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業まとの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・指導事項 1. 製図の役割 （1）製図と規格 （2）図面の表し方 2. 機械に関する製図・設計製図	【知識・技術】 製作図の基礎的な課題を通して知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 授業まとの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	40
2 学期	CAD製図 【知識及び技術】 二次元CADの課題を通して基礎的な知識・技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業まとの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・指導事項 1. 情報機器を活用した設計製図 （1）CADの機能 （2）二次元CAD	【知識・技術】 二次元CADの基礎的な課題を通して知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 授業まとの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	40
3 学期	CAD製図 【知識及び技術】 三次元CADの課題を通して基礎的な知識・技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 授業まとの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・指導事項 1. 情報機器を活用した設計製図 （1）CADの機能 （2）三次元CAD	【知識・技術】 三次元CADの基礎的な課題を通して知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 授業まとの振り返りを通して、課題発見及び課題解決力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業開始時の機器点検や授業終了時の機器点検・道具の整理・清掃活動等を通して主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	25
備考							合計 105

【知識及び技能】	社会生活に必要な国語の特質を理解し、適切に使用できる知識・技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	社会の中で他者と関わるための伝え合う力、深く考える力、自ら表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉の持つ力を認識し、言語感覚を磨き、国語と我が国の言語文化を大切にし、自らの課題に真摯に取り組む態度を養う。

科目「国語表現」の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本語の文章表現及び会話表現の知識と技術を身につける。	的確に判断し表現する力を養う。	言葉を大切にし、自らの課題に真摯に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 表現とは何か 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得 【思考力、判断力、表現力等】表現とは何かを知る 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解・課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 様々な表現方法を理解したか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	5
	B 単元 1分かりやすく説明しよう 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得 【思考力、判断力、表現力等】効果的な情報の整理・伝達が出来たか 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解・課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 接続詞の理解が深まったか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	10
	定期考査				○	○		1
	C 単元 2身体で表現しよう 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得 【思考力、判断力、表現力等】効果的な表現が出来たか 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解・課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 効果的な表現ができたか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15

D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
定期考査				○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	内容のまとめり	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	E 単元 3「問い」を考えよう 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得 【思考力、判断力、表現力等】効果的な表現が出来たか 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解・課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 効果的な表現が出来たか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15
	F 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査				○	○		1
	G 単元 4「自分」を表現しよう 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得 【思考力、判断力、表現力等】効果的な表現が出来たか 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 教科書・プリント・資料 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解・課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 効果的な表現が出来たか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	15
	H 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
3 学 期	定期考査				○	○		1
	I 単元 5論理的な文章を書こう 【知識及び技能】漢字の習熟・語彙の増加・言語知識の獲得 【思考力、判断力、表現力等】効果的な表現が出来たか 【学びに向かう力、人間性等】授業及び自らの課題に真摯に取り組む	・指導事項 漢字・語彙・言語知識・内容理解・課題作成 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】漢字・語彙・言語知識 【思考・判断・表現】文章内容の理解・課題作文	【知識・技能】漢字や語彙の知識が身についたか 効果的な表現が出来たか 【思考・判断・表現】授業中の発問に適切に答え、課題を作成したか 【主体的に学習に取り組む態度】授業に出席し、真摯に取り組んだか	○	○	○	10
	J 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	K 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査				○	○		1

備考		合計
		75

高等学校 令和7年度

教科 数学 科目 数学A

対象学年組： 第 学年 M 組 単位数： 単位 教科担当者：

使用教科書： 発行者 #N/A 教科書記号・番号 #N/A 教科書名 新編数学A新編数学Aサポートブック

教科 「数学」 の目標

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 「数学A」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、図形の性質についての基本的な概念や、原理・法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質について論理的に考察し表現する力、場合の数に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、事象に対し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
1 学 期	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 集合の要素の個数を求めることができる。 和の法則と積の法則を利用して場合の数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 共通部分や和集合・補集合について理解し、集合を求めていく過程を見通し良く行う手段を見出そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 集合を記号を用いて表現しようとしている。	・指導事項 集合の要素の個数と和と積の法則 ・教材 ワークシート	【知識及び技能】 集合の要素の個数を求めることができる。 和の法則と積の法則を利用して場合の数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 共通部分や和集合・補集合について理解し、集合を求めていく過程を見通し良く行う手段を見出そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 集合を記号を用いて表現しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 順列・組合せの計算をすることができる。 重複順列を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 順列・組合せについて理解し、場合の数の総数を求めていく過程を見通し良く行う手段を見出そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 順列・組合せの総数を求めようとしている。	・指導事項 順列と組合せ ・教材 ワークシート	【知識及び技能】 順列・組合せの計算をすることができる。 重複順列を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 順列・組合せについて理解し、場合の数の総数を求めていく過程を見通し良く行う手段を見出そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 順列・組合せの総数を求めようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配 当 時 数
2 学 期	第1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 順列や組合せを活用して、確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 順列や組合せの考え方を工夫して、反復試行・余事象。独立な事象・和事象などを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の基本性質を理解しようとしている。	・指導事項 集合の要素の個数と和と積の法則 ・教材 ワークシート	【知識及び技能】 順列や組合せを活用して、確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 順列や組合せの考え方を工夫して、反復試行・余事象。独立な事象・和事象などを考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 確率の基本性質を理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	第3章 図形の性質 【知識及び技能】 線分を内分する点、外分する点、重心を求めることができる。 円に内接する三角形や四角形の角度または長さを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 内心・外心・重心を活用して、様々な三角形の性質・特徴を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な図形の角度や線分の長さを求めようとしている。	・指導事項 集合の要素の個数と和と積の法則 ・教材 ワークシート	【知識及び技能】 線分を内分する点、外分する点、重心を求めることができる。 円に内接する三角形や四角形の角度または長さを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 内心・外心・重心を活用して、様々な三角形の性質・特徴を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な図形の角度や線分の長さを求めようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第3章 図形の性質 【知識及び技能】 線分を内分する点、外分する点、重心を求めることができる。 円に内接する三角形や四角形の角度または長さを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 内心・外心・重心を活用して、様々な三角形の性質・特徴を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な図形の角度や線分の長さを求めようとしている。	・指導事項 集合の要素の個数と和と積の法則 ・教材 ワークシート	【知識及び技能】 線分を内分する点、外分する点、重心を求めることができる。 円に内接する三角形や四角形の角度または長さを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 内心・外心・重心を活用して、様々な三角形の性質・特徴を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な図形の角度や線分の長さを求めようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
備 考							合計 66

高等学校 令和7年度（3学年用）

教科 保健体育 科目 体育

対象学年組： 第 3 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 鈴木 悠太
使用教科書： 発行者 大修館 教科書記号・番号 保体701 教科書名 現代高等保健体育
教科 「保健体育」 の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を活用できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自己や社会の課題を探究し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 「体育」 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解し、技能を活用する。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見・探究し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の個性を大切にする意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
	A 体づくり運動 【知識及び技能】 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則を理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指すことができるようにする。 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保することができるようにする。	(ア)体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・ リズムに乗って心が弾むような運動 ・ 緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動 ・ いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動 ・ 教材：教科書、学習カード ・ 一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 ・ 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・ 運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ・ ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・ 体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・ 健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	C 陸上競技 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方を理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 ア 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	(ア)短距離走・リレー (ウ)ハードル走 ・ 教材：教科書、学習カード ・ 一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】 ・ 陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・ 技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 【技能】 ・ スタートダッシュでは地面を力強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速することができる。 ・ スタートダッシュから1台目のハードルを勢いよく走り越すことができる。 【思考・判断・表現】 ・ 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・ 健康・安全を確保している。	○	○	○	10

1 学 期	E 球技 ウ ベースボール型 「ソフトボール」 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する(とともに)、(作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する)ことができるようにする。 ウ ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、(合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに)、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、(フェアなプレイを大切にしようとする)、(作戦などについての話合いに貢献しようとする)、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、(互いに助け合い教え合おうとする)(などや)、健康・安全を確保することができるようにする。	ウ ソフトボール ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】 ・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 【技能】 ・タイミングを合わせてボールを捉えることができる。 ・ねらった方向にボールを打ち返すことができる。 ・ねらった方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げるすることができる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ソフトボールの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」 【知識及び技能】 ・スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること、また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることを理解することができる。 ・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること、また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。	(ア)スポーツの歴史的発展と多様な変化 (イ)現代のスポーツの意義や価値 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることについて、言ったり書き出したりしている。また、近年では、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることについて、言ったり書き出したりしている。現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて、言ったり書き出したりしている。オリンピックムーブメントは、オリンピック競技大会を通じて、人々の友好を深め世界の平和に貢献しようとするものであること、また、パラリンピック等の国際大会が、障害の有無を超えてスポーツを楽しむことができる共生社会の実現に寄与していることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思・判・表	態	配当 時数
2 学 期	E 球技 イ ネット型 「バドミントン」 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する(とともに)、(作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する)ことができるようにする。 イネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、(合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに)、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に自主的に取り組むとともに、(フェアなプレイを大切にしようとすること)、(作戦などについての話し合いに貢献しようとする)、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、(互いに助け合い教え合おうとすること)(などや)、健康・安全を確保することができるようにする。	イ バドミントン ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】 ・球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【技能】 ・サービスでは、シャトルをねらった場所に打つことができる。 ・シャトルを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 ・腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 【思考・判断・表現】 ・バドミントンについて、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バドミントンの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保している。	○	○	○	16
	E 球技 ア ゴール型 「サッカー」 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、(技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに)、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 アゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、(自己や仲間の考えたことを他者に伝える)ことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・サッカーに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする)、(互いに助け合い教え合おうとすること)(などや)、健康・安全を確保することができるようにする。	ア サッカー ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】 ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【技能】 ・味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。 【思考・判断・表現】 ・サッカーの合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・サッカーの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・健康・安全を確保している。	○	○	○	10

H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」 【知識及び技能】 ・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることを理解できるようにする。 ・スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。	(ウ)スポーツの経済効果と高潔さ (エ)スポーツが環境や社会にもたらす影響 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 ・現代のスポーツの経済的効果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、例えば、スポーツ用品、スポーツに関する情報やサービス、スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果、スポーツイベント等による波及的な経済的効果があり、経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて、言ったり書きだしたりしている。なお、スポーツの経済的波及効果が高まることに伴って、スポーツの価値をおとしめる可能性が生じることから、スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることについて、言ったり書きだしたりしている。 ・スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていくことについて、言ったり書きだしたりしている。また、スポーツを行う際には、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについて、言ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
--	--	--	---	---	---	---

3 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとし、安全を確認することができるようにする。	(ア)体ほぐしの運動 ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動 ・リズムに乗って心が弾むような運動 ・緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動 ・いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 ・仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・健康・安全を確保している。	○	○	○	4
	E 球技 ア ゴール型 「バスケットボール」 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、(技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに)、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 ア ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、(自己や仲間の考えたことを他者に伝える)ことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・バスケットボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、(一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、話し合い)などや、健康・安全を確保することができるようにする。	ア バスケットボール ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識】 ・戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。 【技能】 ・味方が操作しやすいパスを送ることができる。 ・ゴール前に広い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。 【思考・判断・表現】 ・バスケットボールの合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バスケットボールの学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・健康・安全を確保している。	○	○	○	10
	H 体育理論「1 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展」 【知識及び技能】 ・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められることを理解できるようにする。 ・スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとすることができるようにする。	(ウ)スポーツの経済効果と高潔さ (エ)スポーツが環境や社会にもたらす影響 ・教材：教科書、学習カード ・一人1台端末の活用：映像資料や学習カード等を各自の端末に配信するとともに、作成したデータをポートフォリオとして蓄積し今後の学習に活用する。	【知識・技能】 ・現代のスポーツの経済的效果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、例えば、スポーツ用品、スポーツに関する情報やサービス、スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果、スポーツイベント等による波及的な経済的效果があり、経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて、言ったり書きだしたりしている。なお、スポーツの経済的波及効果が高まることに伴って、スポーツの価値をおとしめる可能性が生じることから、スポーツに関わる全ての人々に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることについて、言ったり書きだしたりしている。 ・スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて、言ったり書きだしたりしている。また、スポーツを行う際には、提供者、利用者の双方が持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについて、言ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの経済的效果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について、習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2

1 学 期	Lesson3 今、何してる？ Action! Part 1 友だちの好きなものを聞いてみよう 【知識及び技能】 進行形を使った文を理解している。進行形を使った文の理解を基に、今していることや過去のある時点にしていたことについて対話する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 進 行形 今し ていることや過去のある時点に していたことについて対話する。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 進行形を使った文を理解することができる。進行形を使った文の理解を基に、今していることや過去のある時点にしていたことについて対話する技能を身につけることができる。 【思考・判断・表現】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようすることができる。	○	○	○	7
	Lesson4 花粉症ってつらい？ Scene 1 ファストフード店に行こう 【知識及び技能】 未来を表す表現を使った文を理解し、それを基に、時間がたつと変化するものや今後の予定などについて伝える技能を身につけている。ファストフード店で使ういろいろな表現を理解し、いろいろな表現を基に、多様な状況で会話する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 未 来を表す表現 時間 がたつと変化するものや今後の予 定などについて発表する。 ファストフード店での多様な状況 を想定して会話をする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 未来を表す表現を使った文を理解し、それを基に、時間がたつと変化するものや今後の予定などについて伝える技能を身につけている。ファストフード店で使ういろいろな表現を理解し、いろいろな表現を基に、多様な状況で会話する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手に積極的に伝えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査											1
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
			聞	読	話	話	書					
	Lesson3 今、何してる？ 【知識及び技能】 進行形を使った文を理解している。進行形を使った文の理解を基に、今していることや過去のある時点にしていたことについて対話する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。	・指導事項 進 行形 今し ていることや過去のある時点に していたことについて対話する。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 進行形を使った文を理解することができる。進行形を使った文の理解を基に、今していることや過去のある時点にしていたことについて対話する技能を身につけることができる。 【思考・判断・表現】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 今していることや過去のある時点にしていたことについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。	○	○	○	7
	Lesson4 花粉症ってつらい？ Scene 1 ファストフード店に行こう 【知識及び技能】 未来を表す表現を使った文を理解し、それを基に、時間がたつと変化するものや今後の予定などについて伝える技能を身につけている。ファストフード店で使ういろいろな表現を理解し、いろいろな表現を基に、多様な状況で会話する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手に積極的に伝えようとしている。これまで継続してきたことやその様子について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手や読み手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 未 来を表す表現 時間 がたつと変化するものや今後の予 定などについて発表する。 ファストフード店での多様な状況 を想定して会話をする。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 未来を表す表現を使った文を理解し、それを基に、時間がたつと変化するものや今後の予定などについて伝える技能を身につけることができる。ファストフード店で使ういろいろな表現を理解し、いろいろな表現を基に、多様な状況で会話する技能を身につけることができる。 【思考・判断・表現】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手にわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 時間がたつと変化するものや今後の予定などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。ファストフード店での多様な状況を想定しながら、自分の意志を相手に積極的に伝えようとしている。これまで継続してきたことやその様子について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手や読み手に積極的に伝えようすることができる。	○	○	○	7
	定期考査								○	○	○	1

2 学 期	Lesson5 手伝ってくれる？ Lesson6 浅草寺に行こう Action! 富士山に登ろう Part 2【知識及び技能】 助動詞（can, may）を使った文を理解している。 助動詞（can, may）を使った文の理解を基に、将来の自分に手紙を書く技能を身につけている。 助動詞（must, should）を使った文を理解している。 助動詞（must, should）を使った文の理解を基に、守らなければならないルールについて発表する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 将来の自分に手紙を書くにあたって、自分の考えを読み手にわかりやすく伝えている。守らなければならないルールについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の自分に手紙を書くにあたって、自分の考えを読み手に積極的に伝えようとしている。守らなければならないルールについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 助動詞（can, may） 助動詞（must, should） 将来の自分に手紙を書く。 山登りの際の注意点について発表する。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 助動詞（can, may）を使った文を理解することができる。 助動詞（can, may）を使った文の理解を基に、将来の自分に手紙を書く技能を身につけることができる。 助動詞（must, should）を使った文の理解を基に、守らなければならないルールについて発表する技能を身につけることができる。 【思考・判断・表現】 将来の自分に手紙を書くにあたって、自分の考えを読み手にわかりやすく伝えることができる。守らなければならないルールについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来の自分に手紙を書くにあたって、自分の考えを読み手に積極的に伝えることができる。守らなければならないルールについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとするすることができる。	○	○	○	6
	Lesson7 漢字を学ぶ秘けつ Lesson8 秋葉原ってすごい！ Step Up 1 プレゼンテーションをしよう 【知識及び技能】 現在完了形（完了・結果、経験）を使った文を理解している。現在完了形（完了・結果、経験）を使った文の理解を基に、過去に予定したこととその結果、これまでに経験したことを伝える技能を身につけている。現在完了形（継続）、現在完了進行形を使った文を理解している。現在完了形（継続）、現在完了進行形を使った文の理解を基に、これまで継続してきたことやその様子を伝えたり手紙を書いたりする技能を身につけている。自分が紹介したいものを伝えるShow&Tellの方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 過去に予定したこととその結果、これまでに経験したことや、これまで継続してきたことやその様子について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手や読み手にわかりやすく伝えている。Show&Tellの方法を理解した上で、自分で紹介したいものについての自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 過去に予定したこととその結果、これまでに経験したことや、これまで継続してきたことやその様子について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手や読み手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 現在完了形（完了・結果、経験） 現在完了形（継続、現在完了進行形） 過去に予定したこととその結果、これまでに経験したことにについて発表する。 これまで継続してきたことやその様子を伝える手紙を書く。 自分が紹介したいものを考え、Show&Tellを行う。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 現在完了形（完了・結果、経験）を使った文を理解することができる。現在完了形（完了・結果、経験）を使った文の理解を基に、過去に予定したこととその結果、これまでに経験したことを伝える技能を身につけることができる。現在完了形（継続）、現在完了進行形を使った文を理解することができる。 現在完了形（継続）、現在完了進行形を使った文の理解を基に、これまで継続してきたことやその様子を伝えたり手紙を書いたりする技能を身につけることができる。自分が紹介したいものを伝えるShow&Tellの方法を理解することができる。 【思考・判断・表現】 過去に予定したこととその結果、これまでに経験したことにについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 これまで継続してきたことやその様子について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手や読み手にわかりやすく伝えることができる。Show&Tellの方法を理解した上で、自分で紹介したいものについての自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 過去に予定したこととその結果、これまでに経験したことにについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとする。これまで継続してきたことやその様子について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手や読み手に積極的に伝えようとする。Show&Tellの方法を理解した上で、自分で紹介したいものについての自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとする。ことができる。	○	○	○	7
	定期考査											1
	Lesson9 お手製のパン 【知識及び技能】 受動態を使った文を理解している。 受動態を使った文の理解を基に、好きな本や作品について紹介する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな本や作品について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを読み手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 好きな本や作品について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを読み手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 受動態 好きな本や作品について発表する。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 受動態を使った文を理解することができる。 受動態を使った文の理解を基に、好きな本や作品について紹介する技能を身につけることができる。 【思考・判断・表現】 好きな本や作品について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを読み手にわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 好きな本や作品について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを読み手に積極的に伝えることができる。	○	○	○	5

3 学 期	Lesson10 ギネスに挑戦！ 【知識及び技能】 比較級や最上級を使った文を理解している。 比較級や最上級を使った文の理解を基に、友だちや家族について紹介する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 友だちや家族について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 友だちや家族について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 比較（比較級、最上級） 友だちや家族について発表する。 ・教材（教科書、プリント等） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 比較級や最上級を使った文を理解することができる。 比較級や最上級を使った文の理解を基に、友だちや家族について紹介する技能を身につけることができる。 【思考・判断・表現】 友だちや家族について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 友だちや家族について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようすることができる。	○	○	○	5
	Lesson11 大きなお弁当 【知識及び技能】 同等比較や倍数比較を使った文を理解している。 同等比較や倍数比較を使った文の理解を基に、訪れたい国について日本と比較した場合の特徴について対話する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴を聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴を聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようとしている。	・指導事項 比較（同等比較、倍数比較） 訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴について対話する。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 同等比較や倍数比較を使った文を理解することができる。 同等比較や倍数比較を使った文の理解を基に、訪れたい国について日本と比較した場合の特徴について対話する技能を身につけることができる。 【思考・判断・表現】 訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴を聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴を聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを聞き手に積極的に伝えようすることができる。	○	○	○	3
	定期考査											1
備考											合計	71

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

対象学年組： 第 学年 M 組 単位数： 2 単位 教科担当者： 田中敏生

使用教科書： 発行者 第一 教科書記号・番号 歴総711 教科書名 新歴史総合

教科 「新歴史総合」 の目標

【知識及び技能】	総合的に歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】	歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	歴史的事象から、よりよい社会の実現を自らの課題として主体的に取り組む態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解する。	現代世界の生成に関わる歴史諸事象について、多面的・多角的に考察する。	我が国の歴史に対する理解、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて考察を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 歴史と私たち 【知識及び技能】 歴史事象の背景にあるもの理解し、人類史の特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、歴史を読み解く問いを表現している。	・問い 私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。 ・指導事項 古代文明に起源を有する事象を取扱い歴史を考察する視点を養う	【知識・技能】 身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、自分の考えを表現している。	○	○		2
	単元 近代世界の出現 【知識及び技能】 18世紀までのアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国の進出について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 銀の動きに着目し、清と近隣諸国、ヨーロッパ諸国との交易の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 大西洋三角貿易がアメリカとアメリカに残した課題について考察し、表現している。	・問い 18世紀までに日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのだろうか。 ・指導事項 ①ヨーロッパ、アジアの歴史的特質 ②アジア、アフリカ、新大陸へのヨーロッパ諸国の進出 ③アジア・アメリカに向かうヨーロッパ史資料の読解等	【知識・技能】 アジア各地域間の貿易やアジア諸国と欧米諸国の進出と、日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元 工業化の進展と国民国家の建設 【知識及び技能】 産業革命の進行と、その結果確立した資本主義による社会の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命による社会の変化に着目し、現代につながるどのような問題が生じたかを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な革命が現代社会に与えた課題を考察し、解決策を追究しようとしている。	・問い 欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。 ・指導事項 ①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け ③フランス革命の影響と国民意識の芽生え ④産業革命で変わる社会 ⑤イギリスの繁栄と国際分業体制 ー 一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	7
	単元 近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 国民国家の形成について、ナショナリズムの運動に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 1848年を転換点とするヨーロッパにおける近代化の経緯について考察し、その特徴を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家の形成や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について考察し、解決策を追究しようとしている。	・問い 近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。 ・指導事項 ①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第2次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化 ー 一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	6
	単元 結びつく世界と日本の開国 【知識及び技能】 ヨーロッパの進出に対し、オスマン帝国、エジプト、イランの3国がそれぞれどのような対応をとったのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 清と日本の欧米諸国への対応における相違点をあげ、その理由について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米諸国の進出に伴うアジア社会の変容が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。	・問い 近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。 ・指導事項 ①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争 ④黒船と日本の対応 ⑤新体制と江戸幕府の滅亡 ー 一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

